



学校運営協議会で委員のかたと一緒に熟議して、「上宇部校区のあいさつを活性化させるためには」をテーマに6年生が中心となって、今年度、全校で取り組んでいます。

「させられる」のではなく、「したくなる」状況をつくるためには…運営委員会を通して話し合い、各クラスで目標を設定したり、たて割り班(1～6年生)ごとに、あいさつを活性化できるような場を設け、集会や行事を通して活動したりしています。地域づくりに積極的に参画する力を小中連携でさらに高めるために、中学校と合同のあいさつ運動も実施しています。

このように上宇部校区の子どもたちが、よりよく安心して生活し「めざす子どもの姿」に向けて、学校と保護者、地域住民が異なる立場で、課題となっていることは何かを熟議する等、連携・協働による取組の中核となる重要な役割を担っているところが、学校運営協議会なのです。